



谷関恭子
手しごと
の彫金

|| 2022.12.17(土)- 2023.1.29(日)



金属は実に面白い。

金属と日々取っ組み合いながら汗を流し、時には失敗と言われることを試みて、素材の限界を目の当たりにしたときなどは、まさにおとぎ話に出てくる「玉手箱」を開いた瞬間のような驚きや発見、感動を覚えます。

職人の手仕事について、「手の持つ無限の力」を実感します。

— 谷関恭子著「手仕事の彫金」より抜粋

2022.12.17(土)~2023.1.29(日) 9:00a.m.- 4:30p.m.

入館料 一般 200円 高校生 150円 小中学生 100円
登米市高倉勝子美術館 桜小路 多目的室アートパル
お問合せ Tel. 0220-52-2755 高倉勝子美術館桜小路

彫金職人 谷関恭子の軌跡

- 1950年 登米町に生まれる
木登り大好き・歌大好き そして
たくさんの「？」を抱く少女に成長
- 1962年 登米町立登米小学校卒業
登米町立登米中学校入学
- 1963年 中学校体育館落成記念式典で
フォスター作曲「夢路より」を独唱
- 1968年 宮城県立登米高等学校卒業
尚綱女学院短大 食物栄養学科入学
- 1969年 NHK 仙台放送合唱団入団
1970年に短大を卒業後も仕事との両輪で
常任指揮者であり音楽監督であった岡崎光治氏の教えのもと
スキルだけでなく演奏家としての在り方を磨きながら
演奏会への出演はもちろんパートリーダーや副団長を務めるなど
精力的に音楽活動に勤しむ
- 1975年 東京アナウンスアカデミー東北アナウンス学院のコース修了
プロダクションに所属しパーティー・子どもショー等の
司会業に就く
- 1976年 民放局勤務
12年間の勤めのなかで彫金による装身具と出会う
- 1987年 民放局退職後
職業訓練学校「宮城技能開発センター」入学
金属加工師 花輪秀逸氏との縁を得る
- 1988年 「宮城技能開発センター」金属加工科卒業
危険物乙種第4類・アーク溶接技術・ガス溶接・研削・砥石の取替
等の資格・免状を取得
4月 メタルプロジェクト設立
じゅえりい工房・彫金教室開設
- 1989年 「東北のニュークラフト展 in 仙台」事務局を務めると同時に出展
これを嚆矢として
以後三十有余年に亘り
素材である金属と向かい合い取り組み
その精華を折々に発表し高い評価を得続けている
- 2021年 「手仕事の彫金」発行
彫金の仕事を始めて30年の節目の年に着想しこの年実現
谷関作品の大変美しい図録でもあると同時に
谷関恭子氏その人の集大成でもある
- 2022年 12月16日 永眠